

## AUG-JPフォントのテクニック

既存の図面や他社から来たDWGファイルのフォント名を変更するのは以外と面倒な作業です。そんなとき、フォントのマッピングを利用するとわざわざフォント名を書き換えなくても、そのPCで利用する全ての図面についてフォント名の置き換えが可能になります。

フォント名の置き換えはacad.fmpまたはaclt.fmpファイルに定義します。  
acad.fmpまたはaclt.fmpはAutoCADのサポートフォルダに保存されています。

### 【AUG-JPフォント用のフォント マッピング テーブルの例】

bigfontとextfontを、新しいextfont2に置き換えるための設定です。つぎの内容をacad.fmpまたはaclt.fmpに追加します。

---

```
extfont.shx;extfont2.shx  
bigfont.shx;extfont2.shx
```

---

さらに、旧 AUGJPフォントを利用していた場合も、マッピングを利用するとトラブルを防止できます。

---

```
@AUGJPVT.shx;@ExtFont2.shx  
AUGHALF.shx;ExtHalf2.shx  
AUGJPHLF.shx;ExtHalf2.shx  
AUGJPEXT.shx;ExtFont2.shx  
AUGJPHALF.SHX;ExtHalf2.shx  
AUGJPSLM.shx;ExtSlim2.shx  
AUGJPSPEC.SHX;AUGJPSPC.SHX  
AUGJPTATE.shx;@ExtFont2.shx  
AUGSPEC.shx;AUGJPSPC.SHX
```

---

### 【フォント マッピング ファイルの解説】

フォント マッピング ファイルを使用する

図面上で特定のフォントだけを使用する場合や、現在使用しているフォントを他のフォントに変換しなければならない場合もあります。いずれの場合も、テキスト エディタを使用して、フォント マッピング テーブルを作成できます。

フォント マッピング ファイルは、社内のフォント基準を定めたり、オフラインで印刷するときなどに便利です。たとえば、他の会社と図面を共用している場合、フォント マッピング テーブルを使用すると、他のフォントで作成された文字オブジェクトを AutoCAD がどのフォントで置き換えるかを指定できます。また、描画速度の速い SHX フォントを使用して図面を編集した後に、より複雑なフォントを使用して印刷する場合は、フォント マッピング ファイルを作成しておけば、すべての SHX フォントに対応するフォントに置き換えることができます。

フォント マッピング ファイルは、フォント マッピング情報が 1 行に 1 つずつ指定された通常の ASCII テキスト(FMP)ファイルです。各行には、フォント ファイルの名前(ディレクトリ名やパスを含まない)と代替フォント ファイル名をセミコロン(;)で区切って指定します。代替フォント ファイル名には、.ttf のようなファイル拡張子を付けます。

たとえば、romanc.shx フォント ファイルの代わりとして TrueType フォント ファイル times.ttf を使用する場合は、フォント マッピング テーブルに次のように入力します。

```
romanc.shx; times.ttf
```

AutoCAD には、既定値のフォント マッピング ファイルがあります。このファイルは、任意のテキスト エディタで編集できます。また、システム変数 FONTMAP を使用して、[オプション]ダイアログ ボックスで異なるフォント マッピング ファイルを指定することもできます。次の表は、図面を開くときに必要なフォント ファイルが見つからない場合に、その代わりに使用されるフォントを示しています。